※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	「情報Ⅱ」　（東京書籍）						
副教材等	「情報Ⅱ　学習ノート」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・日常の様々なデータを使い、分析・推測ができるようになりましょう。
・コンピュータをよりよく使い、快適な生活を送るために必要な技術やルール等について考えていきましょう。

2　学習の到達目標

・情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための考え方を修得する。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱うことが出来ている ・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解を深める ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任について理解できている	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉えている ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用している ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだしている	・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとしている ・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとしている ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
		○情報社会について クラウドサービスの仕組み ○メディアについて 問題解決の実施と評価	a: 情報社会の利点や問題点、情報システムが社会に及ぼす影響と役割について考えることができる。 b: 情報機器や表計算ソフトを用いて情報をディジタル化することができる。また、状況に応じてメディアを使い分け、情報通信ネットワークや情報機器を活用することができる。 c: コンピュータや情報システムの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。また、問題を把握し、情報技術を用いて解決策を探ることが出来る。	小テスト	課題作成 レポート	授業観察 感想シート
		○データサイエンス ○データの整理・分析 ○情報システム情報セキュリティについて	a:データの収集方法を理解し、実際にデータを収集することが出来ている。 サーバーや LAN などの用途や応用方法が分かる。 b:データを的確に処理し、可視化することが出来る。 c:データサイエンスに興味関心を示し、積極的にデータを整理分析することが出来る。 様々な情報システムや情報セキュリティが日常生活に使用されていることに気づくことが出来る。	小テスト	課題作成 レポート	授業観察 感想シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度